

浜松地区・抗菌薬使用量 サーベイランス報告 2021年度

浜松医科大学医学部附属病院
感染対策室 片桐 由起子

概要

- 平成19年4月に施行された改正医療法により、すべての医療機関において管理者の責任の下で院内感染対策のための体制の確保が義務化されました。
- 本サーベイランスは、静岡県浜松地区（浜松市・湖西市）における抗菌薬の使用状況を調査し、各医療機関における院内感染対策に有用な情報の還元等を行うことを目的としています。

情報公開

- 各施設における広域スペクトラム抗菌薬（カルバペネム・PIPC/TAZ）の使用量を集計・解析し、全参加医療機関のデータをまとめて感染対策室HPに公開します。

抗菌薬サーベイランス参加施設一覧（22施設）

加算1 施設	加算2 施設
JA静岡厚生連 遠州病院	引佐赤十字病院
公立病院機構 天竜病院	十全記念病院
聖隷三方原病院	市立湖西病院
聖隷浜松病院	すすかけセントラル病院
浜松医科大学医学部附属病院	浜名病院
浜松医療センター	浜松北病院
浜松赤十字病院	浜松市リハビリテーション病院
労働者健康安全機構 浜松労災病院	浜松南病院
	北斗わかば病院
	松田病院
	丸山病院
	三方原病院
その他施設	
天竜すすかけ病院	佐久間病院

サーベイランス実施体制

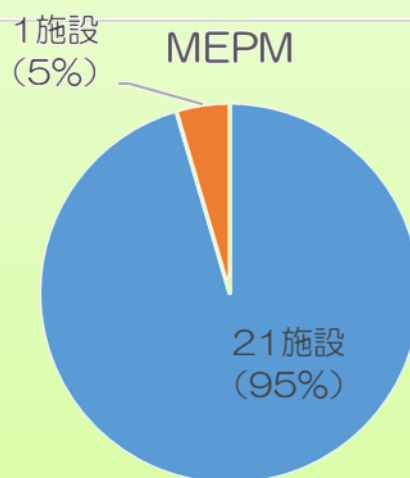
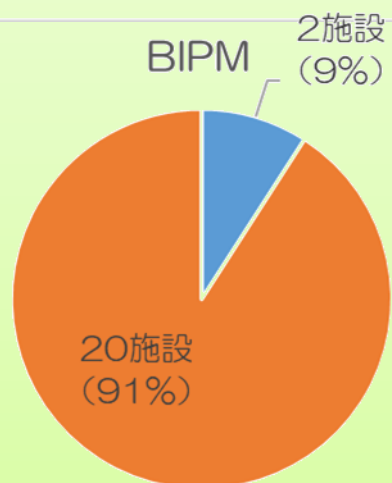
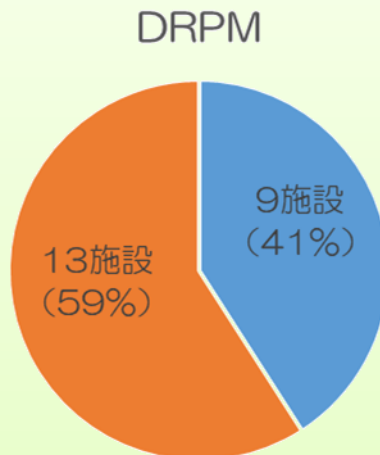
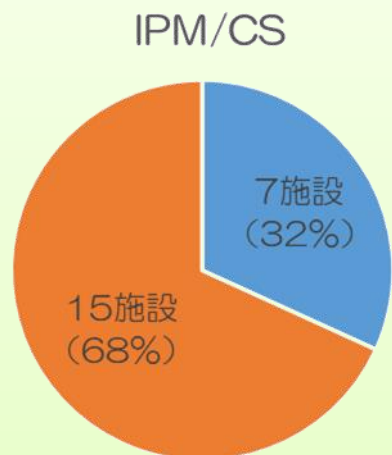
対象とする抗菌薬

- カルバペネム系抗菌薬
 - ・メロペネム (MEPM)
 - ・ドリペネム (DRPM)
 - ・イミペネム/シラスタチン (IPM/CS)
 - ・ビアペネム (BIPM)
- ピペラシリン/タゾバクタム (PIPC/TAZ)

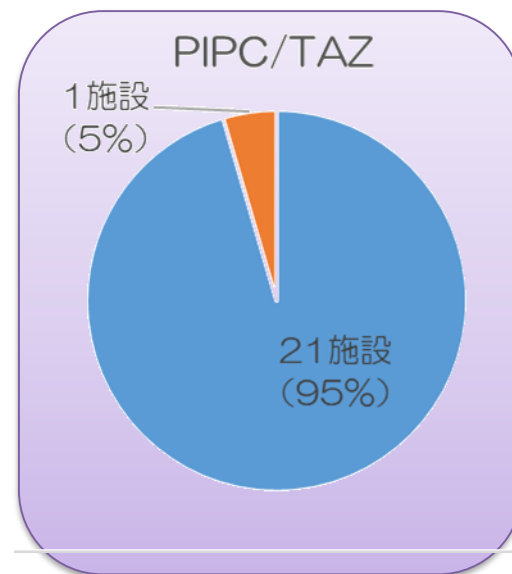
*ほかの抗菌薬の集計についても、今後可能であれば順次追加していく

参加施設のカルバペネム及びPIPC/TAZの採用状況

カルバペネム



PIPC/TAZ



■ 採用
■ 未採用

抗菌薬使用量調査

抗菌薬使用密度 (AUD)

$$= \frac{\text{特定期間の抗菌薬使用量(g)}}{\text{DDD(g)} \times \text{特定期間の入院患者延べ日数(days)}} \times 100$$

AUD : antimicrobial use density

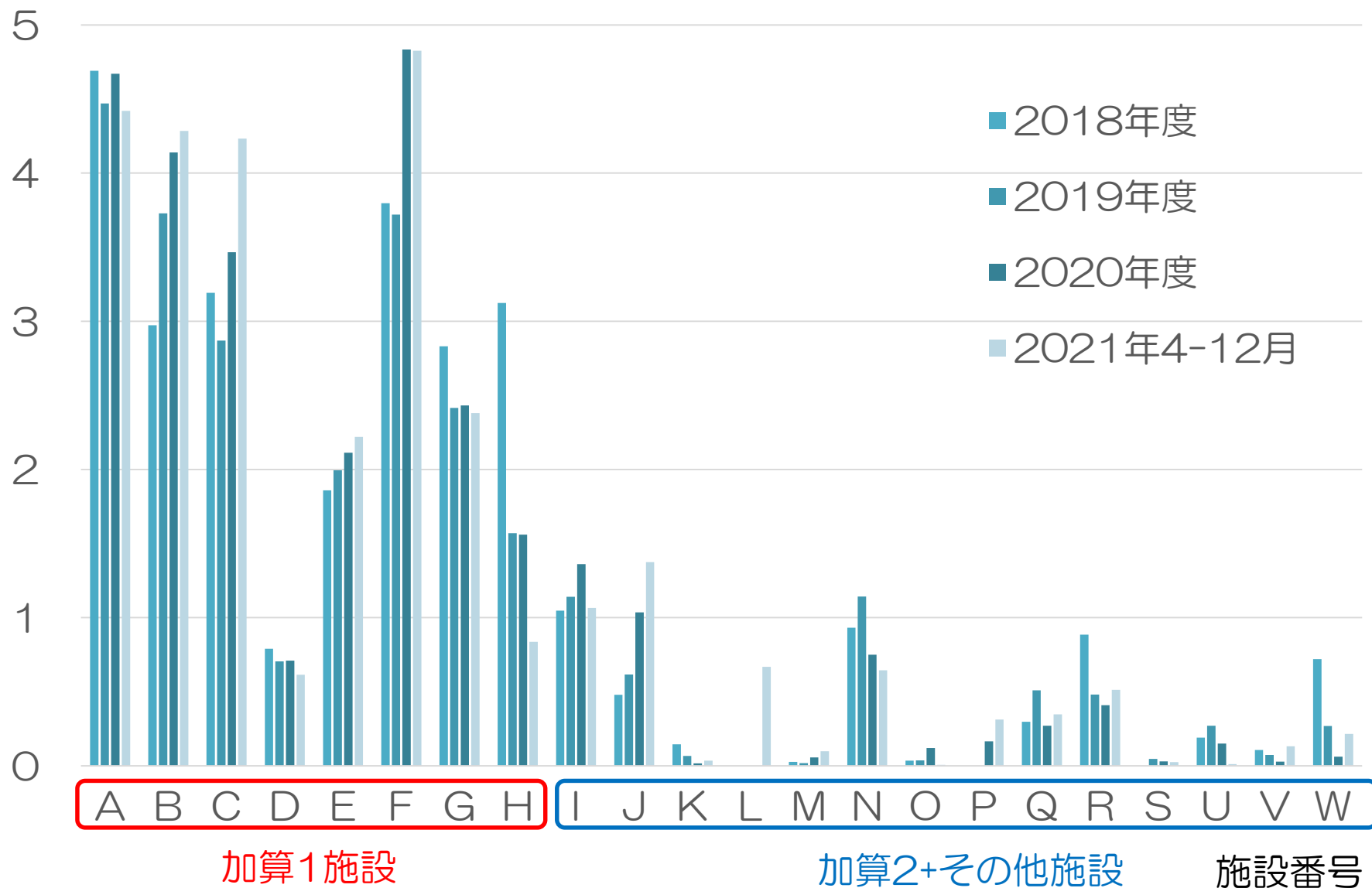
DDD : defined daily dose

※MEPMのDDDが2019年より改訂(2.0→3.0)されたが、本サーベイランスではそれ以前のデータとの比較の観点から変更をせず計算している

2018-21年度抗菌薬使用量（カルバペネム）

AUD/100 patients • days

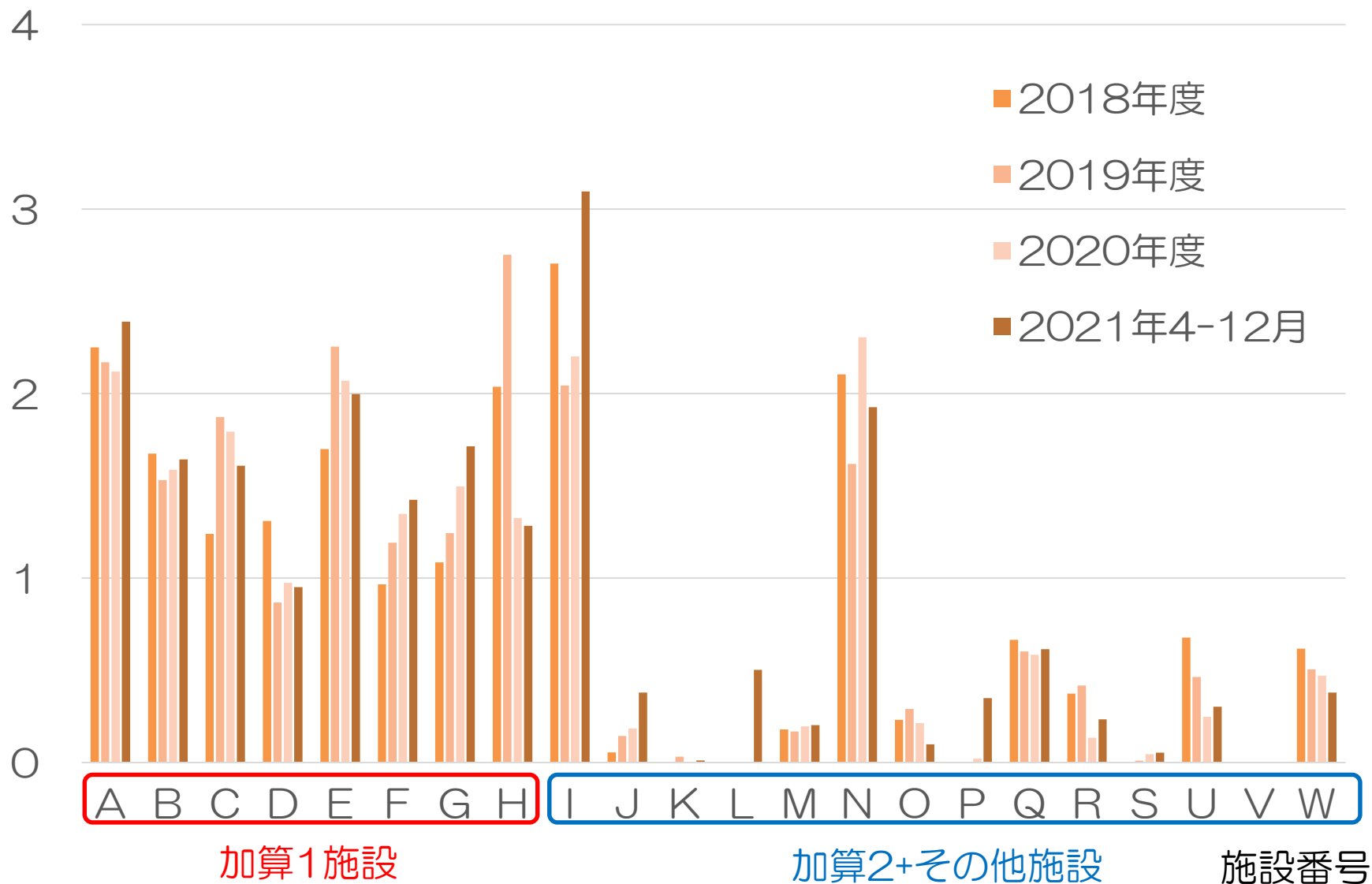
集計期間2018.4～2021.12（1月31日提出分まで）



2018-21年度抗菌薬使用量（PIPC/TAZ）

AUD/100 patients・days

集計期間2018.4～2021.12（1月31日提出分まで）



2018-21年度抗菌薬使用量（カルバペネム + PIPC/TAZ）

AUD/100 patients • days

集計期間2018.4～2021.12（1月31日提出分まで）

